TD61-8133A

Edgecore Networks社製無線LANアクセスポイント
ECW5211-L 設定例

開梱～社内ネットワークで使用開始までのシンプル設定例

2023.7.31

APRESIA SYSTEMS

©APRESIA Systems all right reserved.

ECW5211-L
開梱～社内ネットワークで使用開始までのシンプル設定例

■設定したいこと

ECW5211-Lを新たに設置し、クライアント端末が無線で社内ネットワークにアクセスできるようにしたい

■対応型式、ファームウェアバージョン

- ECW5211-L: 3.45.0000 以降

■設定方法

- 次ページ以降をご参照ください。

■設定後の動作*1

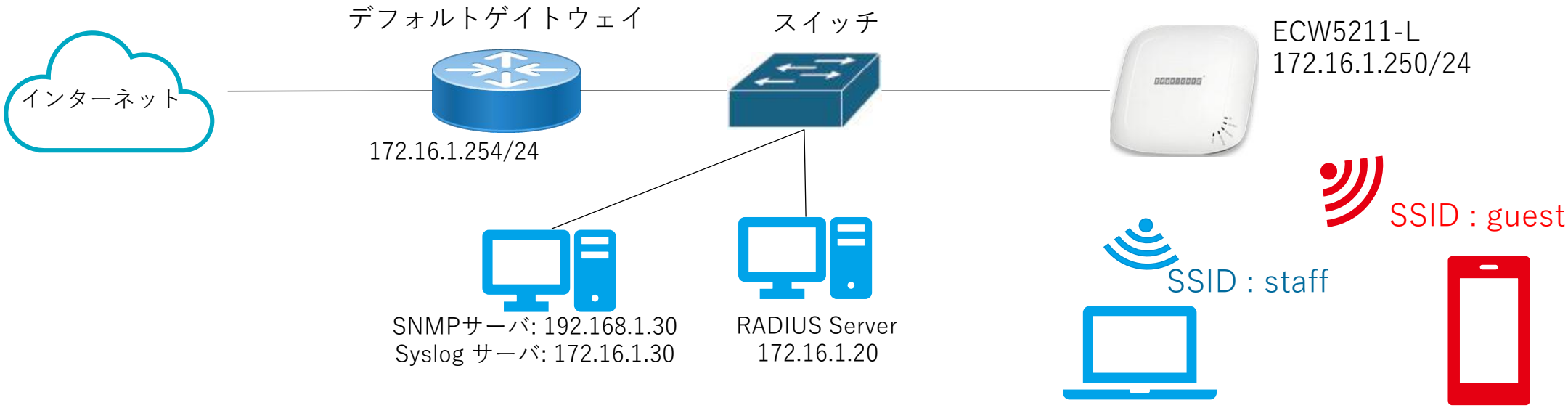
- クライアント端末が無線で社内ネットワークにアクセス可能になります。
- 管理者がブラウザGUI経由でアクセスポイントにアクセス可能になり、アクセスポイント設定を変更可能です。
- GUIを使って最新のファームウェアへ更新が可能になります。

*1

- 記載の動作内容は事前に通知なく変更されることがあります。
- 最新の情報は、Edgecore Networks社発行のユーザーマニュアルをご参照ください。ユーザーマニュアルは以下URLよりダウンロード可能です
- URL：　https://www.apresia.jp/products/wireless/support/download.html

ECW5211-L
開梱～社内ネットワークで使用開始までのシンプル設定例

本ドキュメントでは、以下のネットワーク構成における設定例を説明します。



備考
1. アクセスポイントECW5211-Lには2.4GHzと、5GHz用の２つの無線カード(RF Card A/B)があります。この設定例では、 RF Card A/B両方で同じSSIDを出力します。

2. VAP(Virtual Access Point＝仮想アクセスポイント)機能を使用することで、１つの物理アクセスポイント上に複数の仮想アクセスポイントを表示できます。各VAPは個別の設定(SSID, ネットワークモード, VLAN ID, セキュリティ）を使用して個別に有効・無効にできます。アクセスポイントは複数のSSIDを通して異なるクライアントをサポートできます。VAPは各無線カードごとに最大8個設定できます。

アクセスポイントの無線設定

VAP	VAP-1	VAP-2
SSID	staff	guest
用途	従業員用	ゲスト用
VLAN ID	10	20
認証方式	WPA2 エンタープライズ (ID/パスワード)	WPA2 パーソナル (PSK)

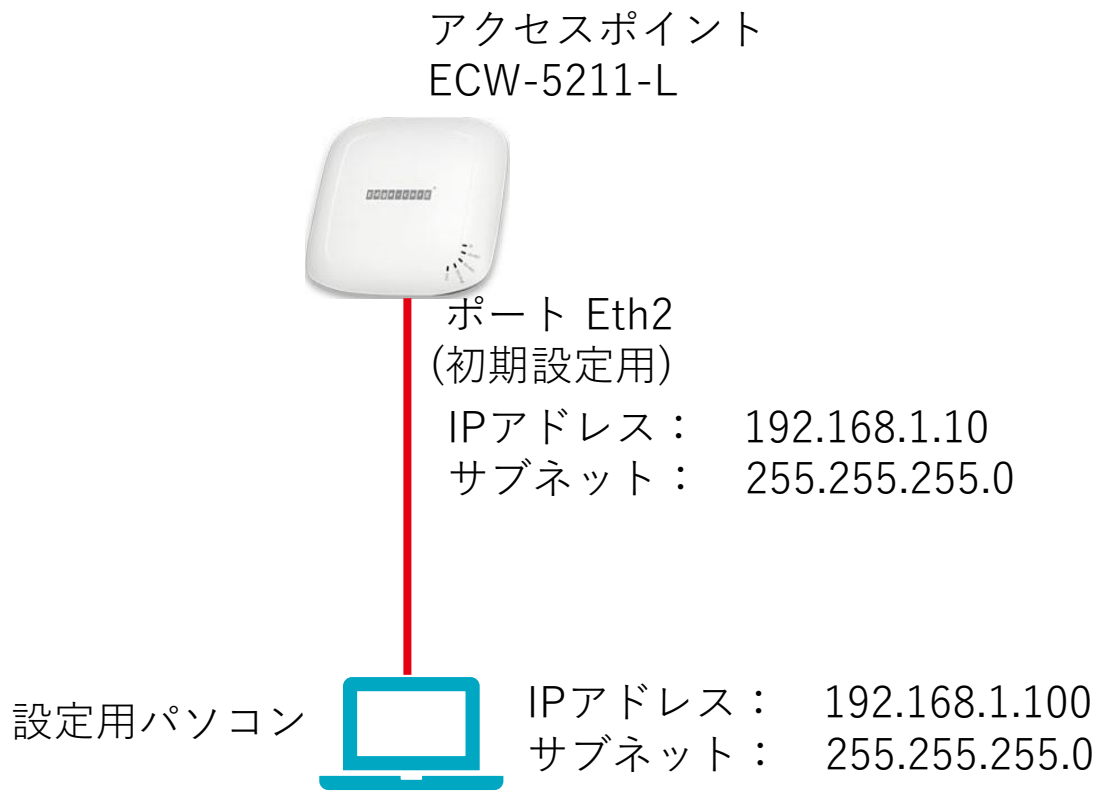
ECW5211-L
開梱～社内ネットワークで使用開始までのシンプル設定例

(1)
アクセスポイント初期設定用の準備を行います。

① 付属のACアダプターを使用してアクセスポイントへ給電します。

② 設定用のパソコンのIPアドレスをアクセスポイントのサブネットのIPアドレスに設定します。右の接続図ではIPアドレスを192.168.1.100、サブネットマスクを255.255.255.0に設定しています。

③ アクセスポイントのポートEth2と設定用パソコンをLANケーブルで接続します。アクセスポイントの初期設定用のEth2ポートのIPアドレスは 192.168.1.10、サブネットマスクは255.255.255.0です。



ECW5211-L
開梱～社内ネットワークで使用開始までのシンプル設定例

(2)
アクセスポイントへログインします。

① 設定用PCでウェブブラウザを開き、アドレスバーにアクセスポイントのIPアドレス 192.168.1.10を入力しアクセスポイントのウェブ管理インターフェース(WMI)へアクセスします。

② アクセスポイントのWMIへアクセスができると、ログイン画面が表示されます。

③ アクセスポイントの初期設定のユーザ名:admin、パスワード:admin を入力し、ログインボタンをクリックしアクセスポイントへログインします。ログインが成功するとシステム概要画面が表示されます。

注）ログイン画面が表示されない場合：
- アクセスポイントが起動中である(アクセスポイントの電源LEDが点滅中) → 電源LEDが点灯してからアクセスしてください。
- 設定用のPCでPingコマンドでアクセスポイントから応答があるか確認してください。

ログイン画面

システム概要画面

ECW5211-L
開梱～社内ネットワークで使用開始までのシンプル設定例

(3)
ログインパスワードを変更します。

① Utilities->パスワード変更のタブを選択し、パスワード変更の画面へ移動します。

② パスワード変更の画面で、admin(管理者)の新しいパスワードと新しいパスワード（再入力）の欄にパスワードを入力します。パスワードに使用できる文字は英数字のみです。パスワード長は最大32文字です。

③ 保存ボタンをクリックすると、ログイン画面へ遷移します。

④ 必要に応じてuser(ユーザー）のパスワードを変更します。userはアクセスポイントの再起動、設定変更はできませんが、全てのWMIの画面を閲覧できます。

ECW5211-L
開梱～社内ネットワークで使用開始までのシンプル設定例

(4)
システム情報を設定します。

① System→システム情報のタブを選択します。

② システム情報が表示され、以下の項目を登録します。
アクセスポイント名のみ登録必須です。

- アクセスポイント名：アクセスポイントを識別できるようにアクセスポイント名を入力します。この項目はSNMPのオブジェクトSysNameに反映されます。
- 説明：アクセスポイント詳細情報を入力します。
- 設置場所：アクセスポイント設置場所を入力します。この項目はSNMPのオブジェクトSysNameに反映されます

③ 保存ボタンをクリックします。

④ アラームメッセージが表示されますので、適用をクリックし、確認ダイアログのウィンドウでOKボタンをクリックします。

ECW5211-L
開梱～社内ネットワークで使用開始までのシンプル設定例

(5)
時刻設定を行います。

① System→システム情報のタブを選択します。

② タイムゾーン　ドロップダウンリストから
(GMT+9:00) Osaka,Sapporo,Tokyoを選択します

③ 時刻の設定方法を選択します。ここではNTPを使用するを選びます。

④ NTPサーバ1, NTPサーバ２の欄にNTPサーバのIPアドレスまたはFQDNを入力して保存をクリックします。

⑤ 保存ボタンをクリックします。アラームメッセージが表示されますので、適用をクリックし、確認ダイアログのウィンドウでOKボタンをクリックします。

注)アクセスポイントはシステム時刻を保持しませんので、再起動時にシステム時刻がリセットされます。システム時刻はNTPサーバから取得することを推奨します。

ECW5211-L
開梱～社内ネットワークで使用開始までのシンプル設定例

(5)
アクセスポイントのネットワーク設定を行います。

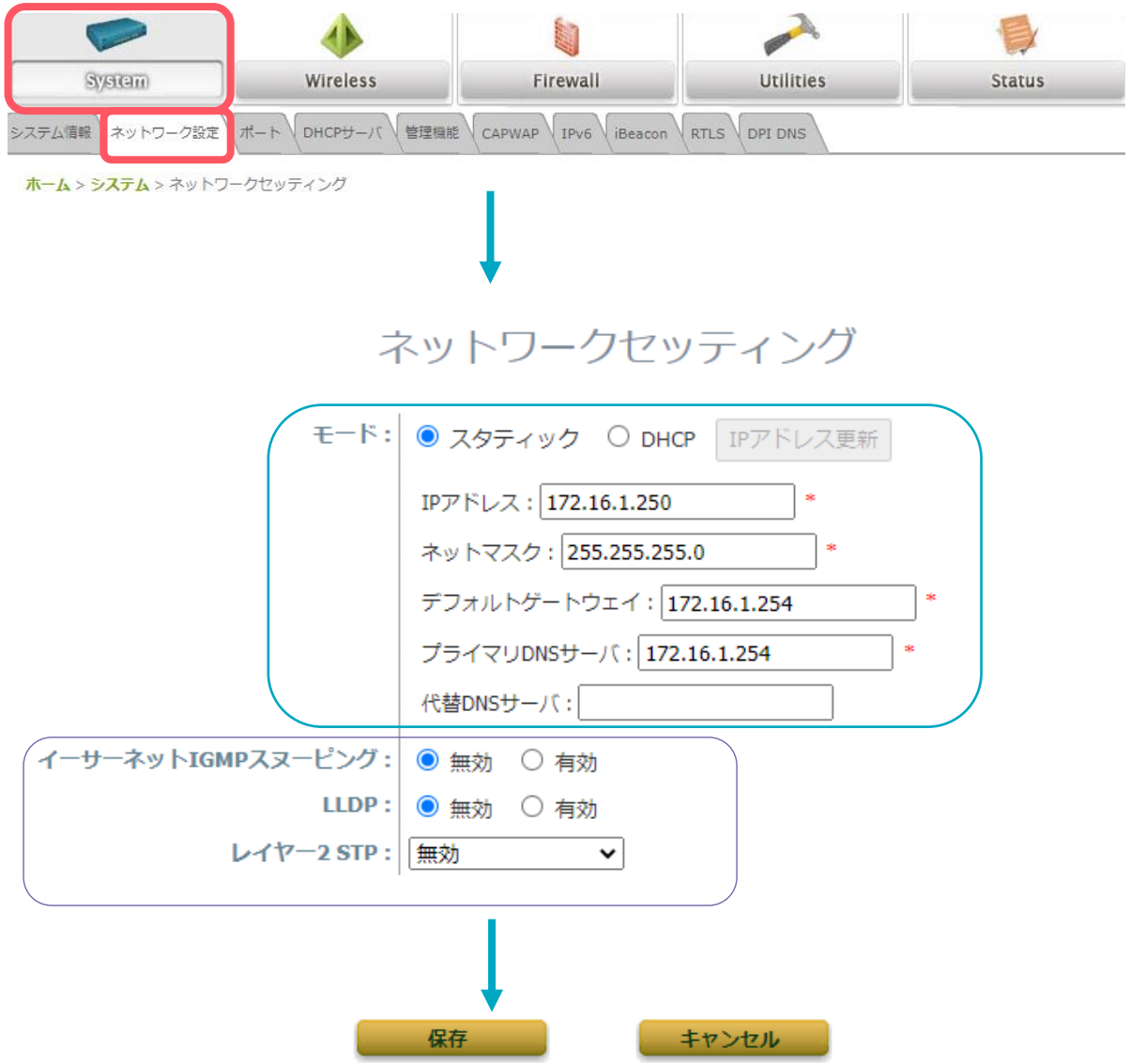
① System→ネットワーク設定のタブを選択します。

② ネットワークセッティングのモード選択でスタティックを選び、IPアドレス、ネットマスク、デフォルトゲートウェイ、プライマリDNSサーバ、必要に応じて代替DNSサーバ情報を入力します。

③ イーサーネットIGMPスヌーピング、LLDP、レイヤー2STPは導入環境に合わせて設定してください。ここでは全て無効を選択しています。

④ 保存ボタンをクリックします。アラームメッセージが表示されますので適用をクリックし、確認ダイアログウィンドウでOKボタンをクリックします。

⑤ アクセスポイントが再起動します。再起動後、設定したIPアドレスでアクセスポイントのWMIにログインしてください。



ECW5211-L
開梱～社内ネットワークで使用開始までのシンプル設定例

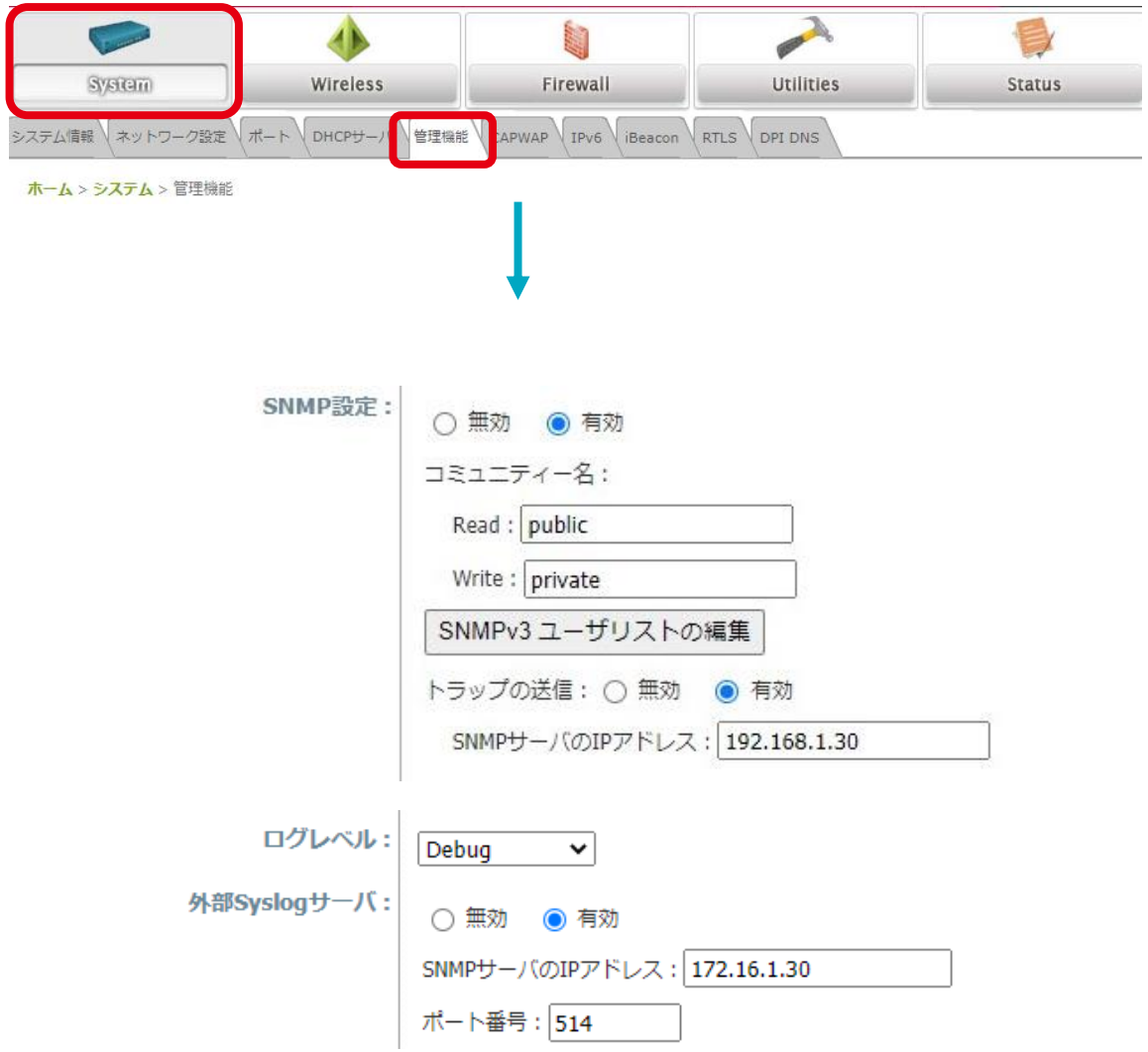
(6)
SNMP Trap通知、Syslog送信設定を行います。

① System→管理機能のタブを選択します。

② SNMP設定を行います。
- SNMP v1/v2cの場合コミュニティー名　Read, Writeを設定
- トラップの送信を有効にし、SNMPサーバ(Trap送信先)のIPアドレスを設定

③ Syslog設定を行います。
- ログレベルをドロップダウンリストから選択
- 外部Syslogサーバを有効に設定
- Syslogサーバ(Syslog送信先)のIPアドレスを設定
- 必要に応じて、ポート番号を変更

④ 保存ボタンをクリックします。アラームメッセージが表示されますので適用をクリックし、確認ダイアログウィンドウでOKボタンをクリックします。



ECW5211-L
開梱～社内ネットワークで使用開始までのシンプル設定例

(7)
管理端末のIPアドレスを設定します。

WMIにアクセスできる管理端末のIPアドレスを設定することにより、WMIにアクセスできる端末を制限することができます。デフォルトの設定では0.0.0.0/0.0.0.0が設定されてすべてのIPアドレスからWMIにアクセスできる設定になっています。

① System→管理機能のタブを選択します。

② 管理可能な端末のIPアドレス欄のIPアドレスリストの編集ボタンをクリックすると、管理端末のIPアドレスリストのページが表示されます。

③ WMIにアクセスできるIPアドレス(またはネットワークアドレス)/サブネットマスクを設定します。

④ 保存ボタンをクリックします。

ECW5211-L
開梱～社内ネットワークで使用開始までのシンプル設定例

(8)
スタッフ用にRF Card A(2.4GHz)VAP-1の設定を行います。

① Wireless→VAP設定のタブを選択します。

② プロファイル名：ドロップダウンリストから RF Card A : VAP-1　を選択します。

③ VAP : 有効 を選択します。

④ プロファイル名 : 管理しやすい名称を設定します。

⑤ ESSID : SSID　staff を設定します。

⑥ ネットワークモードでブリッジモードを選択します。

⑦ VLAN ID : 有効にし、VLAN ID：10を設定します。

⑧ 保存ボタンをクリックすると、アラームメッセージが表示されますので、適用をクリックし、ダイアログのウィンドウでOKをクリックします。

ECW5211-L
開梱～社内ネットワークで使用開始までのシンプル設定例

(9)
スタッフ用にRF Card B(5GHz) VAP-1の設定を行います。

① Wireless→VAP設定のタブを選択します。

② プロファイル名：ドロップダウンリストから RF Card B : VAP-1　を選択します。

③ VAP : 有効 を選択します。

④ プロファイル名 : 管理しやすい名称を設定します。

⑤ ESSID : staff　SSIDを設定します。

⑥ ネットワークモードでブリッジモードを選択します。

⑦ VLAN ID : 有効にし、VLAN ID：10を設定します。

⑧ 保存ボタンをクリックするとアラームメッセージが表示されますので、適用をクリックし、ダイアログの表示でOKをクリックします。

ECW5211-L
開梱～社内ネットワークで使用開始までのシンプル設定例

(10)
スタッフ用にRF Card A(2.4GHz) VAP-1のセキュリティ設定を行います。

① Wireless→セキュリティ設定のタブを選択します。

② プロファイル名でRF Card A: staff を選択します。

③ セキュリティタイプ でWPA-Enterpriseを選択します。

④ 暗号スイートでWPA2を選択します。

⑤ 管理フレーム保護 は 環境に応じて設定してください。

⑥ RADIUSサーバを設定します。
- ホスト：RADIUSサーバのIPアドレスまたはホスト名を入力します。
- 認証ポート：必要に応じて変更します。
- 秘密鍵：RADIUSサーバの秘密鍵を設定します。

⑦ 保存ボタンをクリックします。

ECW5211-L
開梱～社内ネットワークで使用開始までのシンプル設定例

(11)
スタッフ用にRF Card B(5GHz) VAP-1のセキュリティ設定を行います。

① Wireless→セキュリティ設定のタブを選択します。

② プロファイル名でRF Card B: staff を選択します。

③ セキュリティタイプ でWPA-Enterpriseを選択します。

④ 暗号スイートでWPA2を選択します。

⑤ 管理フレーム保護 は環境に応じて設定してください。

⑥ RADIUSサーバを設定します。
- ホスト：RADIUSサーバのIPアドレスまたはホスト名を入力します
- 認証ポート：必要に応じて変更します。
- 秘密鍵：RADIUSサーバの秘密鍵を設定します。

⑦ 保存ボタンをクリックします。

ECW5211-L
開梱～社内ネットワークで使用開始までのシンプル設定例

(12)
ゲスト用にRF Card A(2.4GHz) VAP-2の設定を行います。

① Wireless→VAP設定のタブを選択します。

② プロファイル名でRF Card A : VAP-2を選択します。

③ VAP で 有効 を選択します

④ プロファイル名 で管理しやすい名称に変更します。

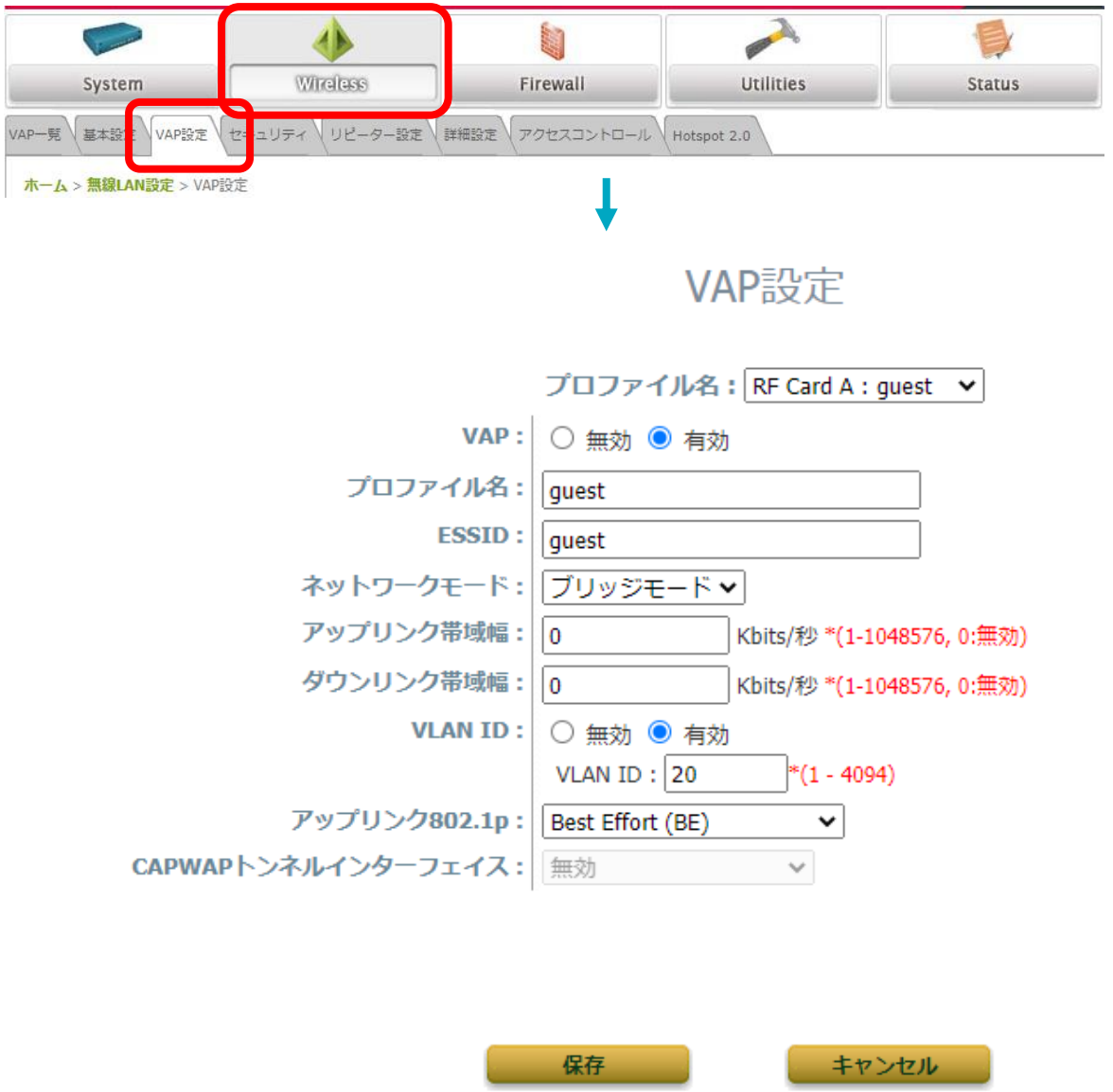
⑤ ESSID で、SSID guestを設定します。

⑥ ネットワークモードでブリッジモードを選択します。

⑦ アップリンク帯域幅、ダウンリンク帯域幅：帯域幅を制限する場合は設定します。

⑧ VLAN ID を有効にし、VLAN ID：20を設定します。

⑨ 保存ボタンをクリックするとアラームメッセージが表示されますので、適用をクリックし、ダイアログの表示でOKをクリックします。



ECW5211-L
開梱～社内ネットワークで使用開始までのシンプル設定例

(13)
ゲスト用にRF Card B(5GHz) VAP-2の設定を行います。

① Wireless→VAP設定のタブを選択します。

② プロファイル名でRF Card B : VAP-2を選択します。

③ VAP で 有効 を選択します

④ プロファイル名 で管理しやすい名称に変更します。

⑤ ESSID で、SSID guestを設定します。

⑥ ネットワークモードでブリッジモードを選択します。

⑦ アップリンク帯域幅、ダウンリンク帯域幅：帯域幅を制限する場合は設定します。

⑧ VLAN ID を有効にし、VLAN ID：20を設定します。

⑨ 保存ボタンをクリックするとアラームメッセージが表示されますので、適用をクリックし、ダイアログの表示でOKをクリックします。

ECW5211-L
開梱～社内ネットワークで使用開始までのシンプル設定例

(14)
ゲスト用にRF Card A(2.4GHz) VAP-2のセキュリティ設定を行います。

① Wireless→セキュリティ設定のタブを選択します。

② セキュリティタイプ でWPA-Personalを選択します。

③ 暗号スイート でWPA2を選択します。

④ 管理フレーム保護は環境に応じて設定して下さい

⑤ プリシェアードキータイプ でパスフレーズを選択します。

⑥ プリシェアードキーでパスワードを設定します。

⑦ 保存ボタンをクリックします。

ECW5211-L
開梱～社内ネットワークで使用開始までのシンプル設定例

(15)
ゲスト用にRF Card B(5GHz) VAP-2のセキュリティ設定を行います。

① Wireless→セキュリティ設定のタブを選択します。

② セキュリティタイプ でWPA-Personalを選択します。

③ 暗号スイート でWPA2を選択します。

④ 管理フレーム保護は環境に応じて設定して下さい

⑤ プリシェアードキータイプ でパスフレーズを選択します。

⑥ プリシェアードキーでパスワードを設定します。

⑦ 保存ボタンをクリックします。

ECW5211-L
開梱～社内ネットワークで使用開始までのシンプル設定例

(16)
アクセスポイントのVAPの一覧を表示し、各VAPの設定状態を確認します。

① Wireless→VAP一覧のタブを選択します。

② VAP一覧の各VAPのステータス、セキュリティ、MACフィルタリング、Hotspot2.0のリンクをクリックすると、設定ページへ移動できます。

VAP一覧

RF Card A

VAP No.	ESSID	ネットワークモード	ステータス	セキュリティ	MACフィルタリング	Hotspot 2.0
1	staff	ブリッジモード	有効	WPA-Enterprise	無効	無効
2	guest	ブリッジモード	有効	WPA-Personal	無効	無効
3	Virtual Access Point 2	ブリッジモード	無効	Open	無効	無効

RF Card B

VAP No.	ESSID	ネットワークモード	ステータス	セキュリティ	MACフィルタリング	Hotspot 2.0
1	staff	ブリッジモード	有効	WPA-Enterprise	無効	無効
2	guest	ブリッジモード	有効	WPA-Personal	無効	無効
3	Virtual Access Point 2	ブリッジモード	無効	Open	無効	無効

ECW5211-L
開梱～社内ネットワークで使用開始までのシンプル設定例

(17)
アクセスポイントの2.4GHz帯の無線設定を行います。

① Wireless→基本設定のタブを選択します。

② 無線カード名でRF Card Aを選択します。

③ 2.4GHz帯を使わない場合は、バンドで無効を選びます。

④ チャネルで固定チャンネルかAutoを選びます。Autoを選択した場合、アクセスポイントは電源投入時チェックの入ったチャネルからチャネルを選択します。

⑤ 送信パワーで信号強度を設定します。Level 1が最大電力でLevelが1下がるごとに1dBmずつ出力電力が下がります。

⑥ バンドステアリングを有効にすると、5GHz帯に接続できるクライアントを5GHz帯に誘導します。

⑦ 保存ボタンをクリックします。

ECW5211-L
開梱～社内ネットワークで使用開始までのシンプル設定例

(18)
アクセスポイントの5GHz帯の無線設定を行います。

① Wireless→基本設定のタブを選択します。

② 無線カード名でRF Card Bを選択します。

③ 5GHz帯を使わない場合は、バンドで無効を選びます。

④ チャネルで固定チャンネルかAutoを選びます。Autoを選択した場合、アクセスポイントは電源投入時チェックの入ったチャネルからチャネルを選択します。

⑤ 送信パワーで信号強度を設定します。Level 1が最大電力でLevelが1下がるごとに1dBmずつ出力電力が下がります。

⑥ バンドステアリングを有効にすると、5GHz帯に接続できるクライアントを5GHz帯に誘導します。

⑦ 保存ボタンをクリックします。

ECW5211-L
開梱～社内ネットワークで使用開始までのシンプル設定例

(19)
VAP毎に詳細設定を行います。

① Wireless→詳細設定のタブを選択します。

② プロファイル名で設定するVAPを選択します。

③ SSIDがクライアント端末に表示されなくしたい場合は、SSIDブロードキャストで無効を選びます。

④ クライアント間の通信を遮断したい場合、無線端末アイソレーションで有効を選択します。

⑤ 受信RSSIしきい値を設定すると、クライアントのRSSIが閾値以下になると、そのクライアントはアクセスポイントから切断されます。

⑥ 最後に保存ボタンをクリックします。

ECW5211-L
開梱～社内ネットワークで使用開始までのシンプル設定例

(20)
VAP毎にアクセスポイントにアクセスできる最大クライアント数と、MACアドレスによるアクセスコントロール設定を行います。

① Wireless→アクセスコントロールのタブを選択します。

② プロファイル名でVAPを択します。

③ 最大クライアント数で、VAPに接続できる最大クライアント数を設定します。

④ アクセスコントロール方式を選択します。

- 無効：クライアントのアクセスは制限されません。
- MACアドレス(許可リスト)：リストに登録されているMACアドレスのクライアントのみアクセスできます。
- MACアドレス(拒否リスト)：リストに登録されているMACアドレスのクライアントはアクセスを拒否されます。
- RADIUS ACL：RADIUSでMACアドレスを認証します。

ECW5211-L
開梱～社内ネットワークで使用開始までのシンプル設定例

(21)
アクセスコントロール方式でMACアドレス(許可リスト)を選択する場合、許可リストにクライアントのMACアドレスを登録します。

① プロファイル名で設定するVAPを選択します。

② アクセスコントロール方式でMACアドレス(許可リスト)を選択します。

③ MACアドレスの欄にMACアドレスを登録し、状態の欄で有効を選びます。

④ 登録が完了したら、保存ボタンをクリックします。アラームメッセージが表示されますので、適用をクリックします。確認のダイアログが表示されますので、OKボタンをクリックします。

注)
① MACアドレスは最大100個登録できます。
② 状態の設定が無効の場合、そのMACアドレスのクライアントはアクセスを拒否されます。

ECW5211-L
開梱～社内ネットワークで使用開始までのシンプル設定例

(22)
アクセスコントロール方式でMACアドレス(拒否リスト)を選択する場合、拒否リストにクライアントのMACアドレスを登録します。

① プロファイル名で設定するVAPを選択します。

② アクセスコントロール方式でMACアドレス(拒否リスト)を選択します。

③ MACアドレスの欄にMACアドレスを登録し、状態の欄で有効を選びます。

④ 登録が完了したら、保存ボタンをクリックします。アラームメッセージが表示されますので、適用をクリックします。確認のダイアログが表示されますので、OKボタンをクリックします。

注)
- MACアドレスは最大100個登録できます。
- 状態の設定が無効の場合、そのMACアドレスのクライアントはアクセスを許可されます

ECW5211-L
開梱～社内ネットワークで使用開始までのシンプル設定例

(23)
アクセスコントロール方式でRADIUS ACLを選択する場合RADIUSサーバの各種設定を入力します。

① プロファイル名で設定するVAPを選択します。

② アクセスコントロール方式でRADIUS ACLを選択します。

③ RADIUSサーバのIPアドレス、認証ポート、秘密鍵を設定します。

④ 保存ボタンをクリックします。アラームメッセージが表示されますので、適用をクリックします。確認のダイアログが表示されますので、OKボタンをクリックします。

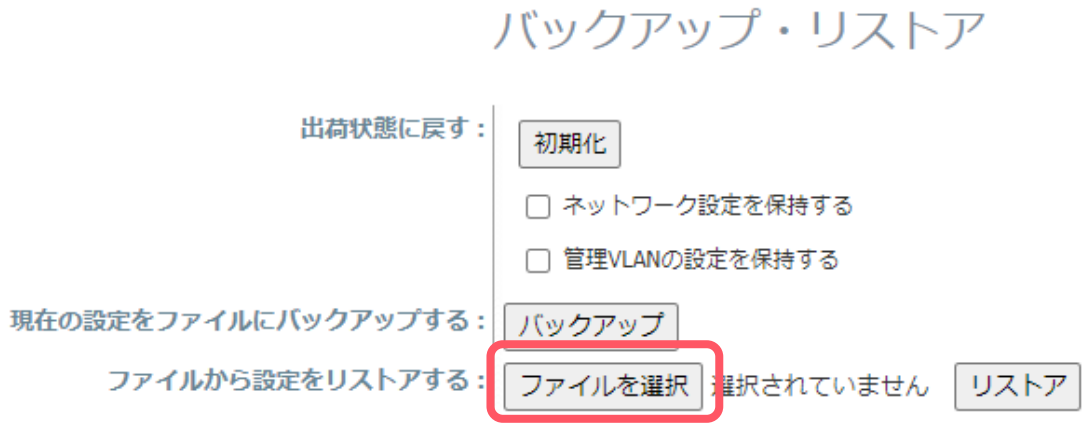
⑤ RADIUSサーバの設定は、セキュリティーのRADIUSサーバの設定と共有されます。

ECW5211-L
開梱～社内ネットワークで使用開始までのシンプル設定例

(24)
アクセスポイントの現在の設定をPC上のローカルディスクのバックアップファイルに保存します。

① Utilities->バックアップ・リストアのタブを選択し、バックアップ・リストアの画面を表示します。

② バックアップのボタンをクリックします。PCに設定のバックアップ config-backup.conf　がダウンロードされます。



ECW5211-L
開梱～社内ネットワークで使用開始までのシンプル設定例

(25)
アクセスポイント故障時などハードウェアを交換した場合
バックアップファイルからアクセスポイントの設定をリストアします。

① Utilities->バックアップ・リストアのタブを選択し、
バックアップ・リストアの画面を表示します。

② ファイルを選択をクリックし、PCにあるバックアップ
ファイルを選択し、開くボタンをクリックします。

③ リストアボタンをクリックします。

④ 確認ダイアログが表示表示されますので、OKボタンを
クリックします。アクセスポイントが再起動します。

(26)-1
アクセスポイントを工場出荷時の状態に初期化する場合、WMI, SSHによる初期化と本体のResetボタンによる初期化の3つがあります。

1) WMIによる初期化
① Utilities→バックアップ・リストアのタブを選択し、バックアップ・リストアの画面を表示します。

② 初期化ボタンをクリックします。

③ 確認のダイアログが表示されますので、OKボタンをクリックします。

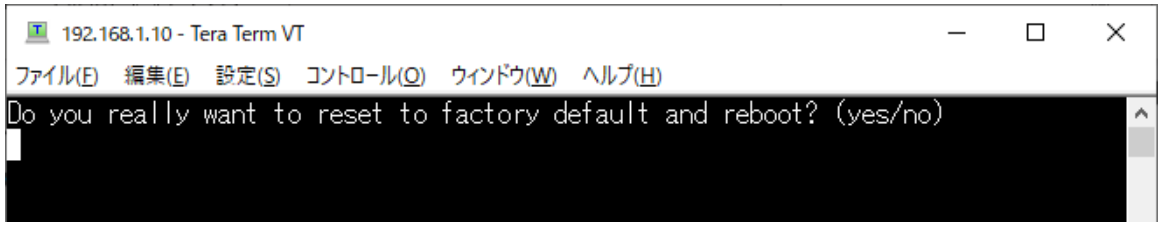
④ アクセスポイントが再起動し、工場出荷時の状態に初期化されます。

(26)-2
アクセスポイントを工場出荷時の状態に初期化する場合、WMI, SSHによる初期化と本体のResetボタンによる初期化の3つがあります。

2) SSHによる初期化
① Tera Term等のターミナルソフトでSSHでアクセスポイントに接続します。

② ユーザ名：reset2def, パスワード：reset2defでアクセスポイントにログインします。

③ ログイン後、初期化の確認ダイアログが表示されます。yesを入力し、enterを入力するとアクセスポイントは再起動し、初期化されます。



3) アクセスポイント本体のResetボタンによる初期化
① アクセスポイント本体のResetボタンを5秒以上押し続け、Resetボタンを離すとアクセスポイントは再起動し初期化されます。

ECW5211-L
開梱～社内ネットワークで使用開始までのシンプル設定例

✓ アクセスポイント開封から社内ネットワークで使用開始までのシンプル設定例は以上になります。
✓ 引き続き、お客様のネットワーク環境に合わせ必要な認証設定等を行ってください。

APRESIA®